



## 国際アクチュアリー会(IAA) 死亡率ワーキンググループ アップデート#8 – ケープ・タウン, 南アフリカ 2016 年 11 月

死亡率ワーキンググループ (MWG)が 11 月に開催されました。17 ヶ国から 21 名のメンバーが出席し、9名のオブザーバーが出席しました。このアップデートは議論をまとめたものです。すべての文書およびプレゼンテーションは本文書の最後にハイパーリンクされています。ここ ([QUESTIONNAIRE](#)) をクリックして、フィードバックをお願いします。

MWG の存在意義は死亡率や長寿に関する情報やデータを調査、研究、発信することです。いくつかは MWG によって行われた研究によるもので、いくつかは他の組織により行われた研究によるものです。我々の目的は、会議やウェブページを通じて、世界のアクチュアリーやその他の方々に有益な情報を提供すること、そして、さらに情報交換するために例えばセミナーといった別の機会を設けることです。

会議ではカントリー・レポートが提供されました。詳細は下段の添付ファイルをご覧ください。

- Ayse Arik が、トルコの人口に基づき行われた調査の方法論および結果を強調しました。
- Hans de Mik が、オランダの死亡率に関するオランダアクチュアリー会の新しいモデルを発表しました。報告は 2 年ごとに更新されます。オランダの死亡率の基準となる情報を与えるために、モデルは GDP 平均を上回る欧州の国々のデータを使用しています。
- Al Klein が、アメリカにおける最近の業界の死亡率調査および諸会議の概要を説明しました。
- Brian Ridsdale が、イギリスにおける死亡率調査をフィードバックしました。死亡率に関して、多くの専門分野にわたる調査プロジェクトが 3 つ進行中です。SOA と CIA が参加しています。IFoA は、アクチュアリアル・サイエンスや関連分野の主要課題を世界的な視野に入れたいと考えており、あらゆる研究プロジェクトに関して他のアクチュアリー会と協力したいと考えています。
- Hans Michael Overgaard: 生命表 K2013 が生命保険会社および年金基金による Finance Norway によって開発されました。現在、この生命表は観察された死亡率に対してモニターされています。
- Ermanno Pitacco: 2012 年、イタリアは 10 年の国勢調査システムから継続的なプロセスに移行しました。年金死亡率調査は、個人、公的および自営業による分類された生命表を作成するためにイタリア・アクチュアリー・ワーキング・グループにより分析されます。2040 年までの年金死亡率予測が公表されています。イタリアには、年金受給者用の生命表 (A1900-2020 表 および A62 表) もあります。
- Hiroshi Yamazaki: 日本では、すべての保険会社が標準責任準備金を積み立てなければなりません。2006 年に採用された標準生命表 2007 は、2007 年 4 月以降、標準責任

準備金を計算するための基礎率として使用されます。標準死亡率調査部会は毎年その妥当性を検証し、金融庁に報告します。

最新の 4 つの MWG プロジェクトのアップデートが提供されました。

- 保険・国民・年金の死亡率比較: 進展なし
- 高齢者の死亡率: Al Klein。この研究は 2017 年に研究論文として発表され、いくつかの国の高齢者の死亡率とともに高齢者の死亡率の計算の方法論を説明することでしょう。
- 高齢者の死亡率改善: Sam Gutterman。このプロジェクトは、特に高齢者の信頼できるデータが欠如しているため、かなりチャレンジングです。チームは、アメリカの退役軍人の死亡率改善を分析しました。所見は男性と女性の間の死亡率改善に大きな相違があることで、改善率は非常に高齢者については減速しているようです。Sam は日本、スウェーデンおよびカナダに関するいくつかの死亡率改善の結果を示しました。
- 死亡率の長期的要因: Al Klein。この研究は、11 個の死亡率の重要な要因を説明することに焦点を当てています。それらをモデル化する計画はありません。このプロジェクトは 2017 年に終了する予定です。

編集委員会からのウェブサイトの概要およびフィードバック

Brian Ridsdale が、ウェブサイトと情報基盤は現在良好であり、潜在的な使用者にマーケティングすべきと報告しました。

MWG マーケティング

Ksenia Novikova が、MWG が持っている現在のリソース、なぜこのグループが存在するのか、マーケティングの観点からリソースを使用する方法の概要を提供しました。ワーキング・グループのアップデートは複数の言語に翻訳されています。すべての言語の翻訳は、pdf 形式および doc 形式で利用可能で、最大の訪問数は英語圏の国々からでした。次の提案が合意されました。

- ほかの IAA のアクチュアリー協会への資料のより広い配布
- IAA 内における MWG の活動の促進
- 調査がより簡単に完了できるように、次の調査において要約の中に関心分野を含ませる

課題アドバイザーグループ

電子タバコの資料発刊に取り組むことが合意されました。主な目的は、複数の国々における電子タバコに関する考察や規制です。この調査において考慮すべき事項の 1 つは、アクチュアリーが現在利用可能な科学に追加できるものです。特定の国がマリファナにどのように取り組んでいるか調査を拡大することが合意されました。

その他の事項

- Sam Gutterman が、気候変動の死亡率への影響に関する資源・環境ワーキンググループの報告書をフィードバックしました。

- Brian Ridsdale and Al Klein が Human Mortality Database についてフィードバックしました。
- 新規メンバー(アルジェリア、レバノン、ロシア、オーストラリア、南アフリカ)の申請が合意されました。
- Paul Lewis が新議長 Brian Ridsdale を紹介しました。Brian は、彼が MWG を作り上げ、研究を楽しいものに尽力してきたことに関して、MWG メンバーを代表して Paul に感謝しました。

ケーブ・タウン会議では 3 人のゲストスピーカーを招きました。

- Emile Stipp (Discovery Insurance Co in South Africa) が、健康プログラムが死亡率および罹患率に与える影響について発表しました。ディスカバリー社は、会員に有意義な報酬を提供することによって、健康でいるように会員を意識付けしています。Big Data 分析を使用して、ディスカバリー社は、健康プログラムに高レベルの約束や長期性があれば、インセンティブが会員の積極的な行動変化をもたらし、死亡率や罹患率を低下させると結論づけました。
- John O'Brien (Gen. Re の CMO) が、電子タバコとその潜在的な死亡率への影響について発表しました。電子タバコ市場は急速に拡大し、2017 年までに 100 億ドルに達すると見込まれています。O'Brien 博士は、電子タバコは伝統的な喫煙よりも有害ではないが、機械的誤動作や多数の有毒な化学物質のような別のリスクがあると結論づけました。
- Ronald Richman が、死亡データから人口データを再作成すること、そして、日付順にまとめられた出生と死亡を訂正することによって、高年齢において利用可能な限定的かつ脆弱な人口データから南アフリカの高齢者の死亡率および有意義な結果を得る方法を発表しました。

これが MWG の議論の概要です。今回の会議(および以前の会議)の議事録、プレゼンテーションおよび資料ならびにアップデートの翻訳は以下から(登録不要で)入手可能です。

[www.actuaries.org/mortalityupdates](http://www.actuaries.org/mortalityupdates).

このアップデートの感想をお伝えください。

[簡単なアンケートに回答するにはここをクリックしてください。](#)

質問は以下のとおりです。

1. アップデート、議事録、資料の中で、あなたにとって最も有用で関心のあるトピックを示してください。
2. どの言語でアップデートを読みましたか？
3. MWG が今後取り組むためにどのようなトピックを提案しますか？
4. あなたは個人的に MWG のプロジェクトや活動の一つに参加したり、貢献することに関心がありますか？その場合、プロジェクトや活動を特定し、連絡先の詳細(氏名、組織、国名、電子メールアドレス)を入力してください。

## 参考

Mortality Working Group Information Base:

<http://www.actuaries.org/mortalityinfo>

IAA Mortality Working Group Updates:

[www.actuaries.org/mortalityupdates](http://www.actuaries.org/mortalityupdates)

## 資料

会議の資料およびプレゼンテーションへのハイパーリンクは以下のとおり。

- [MWG Long Term Drivers](#)
- [Mortality Improvement at Older Ages](#)
- [Mortality Report in Turkey](#)
- [New Mortality Forecast Netherlands](#)
- [The 2016 Dark Side](#)
- [MWG US Research](#)
- [UK Mortality and Longevity Update Paper](#)
- [Revised - MWG UK Update Presentation](#)
- [Country Report for Italy](#)
- [Country Report for Japan](#)
- [Country Report for Norway](#)
- [ASSA REWG Mortality and Climate Change](#)
- [Engagement Impact on Health and Mortality](#)
- [E-Cigarette Report](#)
- [South African Old Age Mortality](#)

## 今後のセミナーについて

ハンガリーのブダペストにおいて、IAA 会議が始まる前日である 2017 年 4 月 18 日に、人口問題ワーキンググループと死亡率ワーキンググループによる共同セミナーへの参加を計画ください。このセミナーでは、人口、死亡率、寿命について取り扱います。このセミナーは皆さんに公開されます。登録が必要です。議題、登録情報、セミナーの詳細は、IAA のウェブサイトに掲載されます。ご関心があれば [iaamwg@actuaries.org](mailto:iaamwg@actuaries.org) までお願いします。

International Actuarial Association | Association Actuarielle Internationale

99 Metcalfe Suite 1203 Ottawa, ON K1P 6L7 Canada

Tel: 1-613-236-0886 | Fax: 1-613-236-1386

[secretariat@actuaries.org](mailto:secretariat@actuaries.org) | [www.actuaries.org](http://www.actuaries.org)